

首都直下地震による中野区の最大被害想定！

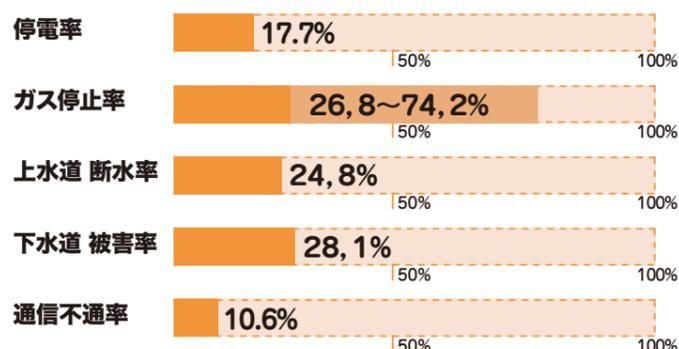
人的被害

死者 **214名**
 負傷者 **2,415名**
 避難生活者数 **49,925名**
 区内滞留帰宅困難者数 **213,227名**

建物被害

火災焼失棟数 **7,222棟**

ライフライン被害



前提条件 想定地震：東京湾北部地震 規模：M(マグニチュード)7.3 震度6～6強 季節等：冬の夕方18時、風速8m/秒

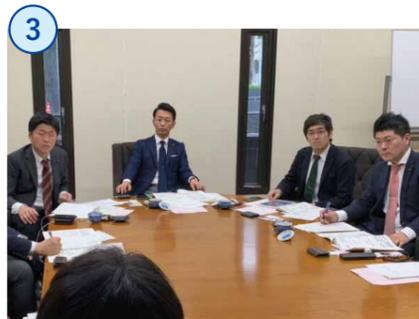
写真で見る防災活動



1 全国市町村国際文化研究所での防災セミナーを受講。熊本地震の現場指揮を執られた危機管理部長とも意見交換。



2 復興支援の職員派遣を行っている宮城県東松島市では防災備蓄倉庫と、東日本大震災からの復興への取り組みを視察。



3 大規模災害に備え、災害時の本会議招集、議案審議・採決の手順を明文化した「議会BCP」について大分市議会と意見交換



4 阪神・淡路大震災から得た貴重な教訓を財産とし、地震災害による被害軽減に貢献するために設立された人と防災未来センターを視察



5 復興・防災・減災に取り組んで来た市民、行政、研究機関等の集いの仙台防災未来フォーラムに参加



6 「災害から わが街を守る！」所属する中野消防団第六分団の仲間と操法大会にて。消防団員絶賛募集中です！

酒井たくや REPORT

*発行：立憲民主議員団 中野区中野4-8-1 Phone:03-3228-8876 Fax:03-3389-8718



災害から中野を守りたい。

こんにちは。立憲民主党 中野区議会議員の酒井たくやです。

首都直下地震がいつ起こるかわからない状況下です。

生まれ育った淡路島も阪神淡路大震災で大きな被害を受けました。

だからこそ第2の故郷 中野 を災害から守りたい！

防災特集レポート是非ご覧下さい。

2019 Winter

1974年1月17日兵庫県淡路島生まれ
 大阪学院大学法学部卒業、会社員、お笑い芸人活動、アントニオ猪木営業軍団トップセールスマン、政治家秘書を経て、2003年初当選 現在4期目

- ・東中野4丁目・5丁目町会青年部
- ・東中野本通り商店会共栄会青年部
- ・中野消防団第六分団班長
- ・青少年育成昭和地区委員会体育部部长
- ・東中野鯉のぼり祭り実行委員会委員長

酒井たくや

164-0003 東京都中野区東中野4-25-5-604 TEL/FAX 03-5386-2838

MAIL takuya117sakai@icloud.com

さかたくブログ



安心! ☆
安全!

中野区/サカタク通信 中野区の防災を変える!

中野区防災対策
を問う!



SPEECH 01 職員区内在住率を高めよ 災害対策本部の強化

職員の区内在住率 20%
管理職の区内在住率 17%

Q 災害時の初期初動は極めて重要。災害対策本部の迅速な設置が必要である。職員の区内在住率は低く、休日や夜間早朝に災害が発生した際にも、即時に機能する体制づくりが必要では。

A 一定の距離内に居住する幹部職員を中心に発災後直ちに参集する体制を敷いて参ります。

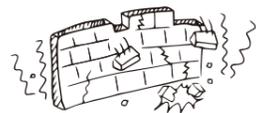
Q 近年は参集訓練が実施されていない。災害対策本部が機能するよう、全職員が一度は参集訓練を経験すべきでは。

A 災害発生時の区職員の参集経路等を確認するためにも訓練を実施して参りたい。

SPEECH 02 ブロック塀の安全性を高めよ!

Q 大阪北部地震により、小学校のブロック塀が倒壊し、女子児童が下敷きになり亡くなりました。区内、全てのブロック塀の調査と、沿道の安全性を高める補助制度を創設せよ。

A 通学路を含め、一定の範囲での調査を行い、全区的に広げて参りたい。その後、総合的な支援策を検討して参ります。



SPEECH 03 職員の防災能力向上を!

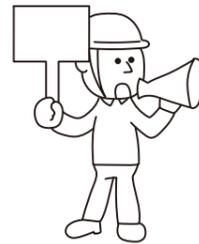
「職員が行政計画を理解してなくとも人命は失われませんが、地域防災計画や防災マニュアル及びBCPを理解しなければ失われる人命もある。」

熊本地震の現場指揮を執られた熊本市危機管理部長のお言葉です。

Q 職員の防災能力向上のため、昇任試験の出題項目に位置付けることや、防災理解度調査を行い、職員の防災能力の向上に努めよ。

A 職員の地域防災計画や防災マニュアル及びBCPの熟知は必須であり、主任昇任選考などを機会の一つと捉え周知徹底を図って参ります。

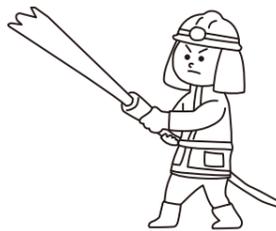
Q 区は被災自治体へ、復興支援のため多くの職員を派遣している。被災地においての、災害対応や復旧、復興支援業務の経験は、大きな財産となる。被災地派遣を経験した職員を防災分野に配置せよ。



A 経験を活かした配置となるよう組織の中で活かして参ります。

Q 年に一度の職員震災訓練の参加者は、全職員二千名のうち約100名程度の参加で充分とはいえない。消防では総合訓練と部分訓練を行う。震災訓練を総合訓練と位置づけ、各災害対策部ごとに部分訓練を行なうべきでは。

A 部分訓練を実施出来るよう研究して参ります。



用語解説 BCP … 災害時の事業継続計画



SPEECH 04 避難所を我慢比べの場所 にしてはならない。 避難所環境改善を!



出典：東北地方整備局 HP「震災伝承館」

Q バリアフリー機能が整備されていない一次避難所が多数ある。介護の必要な高齢者、障がい者など災害弱者のためにも、発災当初から開設できる福祉避難所を検討せよ。(熊本地震の教訓)

A 福祉避難所として活用できる施設の確保に努めて参ります。

帰宅困難者対策!

Q 都の試算では、大震災時に92万人の帰宅困難者が発生。都内の一次滞在施設の受け入れ人数は25万人。一次避難所に帰宅困難者が流入することが容易に予想される。避難所規模の見直しや、避難所スペースの確保に努めよ。



A 一次滞在施設の確保に努めて参ります。

災害時の避難所でもある体育館への冷暖房の設置

Q 猛暑で学校現場では体育館での授業や活動に支障が出た。体育館は災害時に避難所にもなる。暑さ対策は喫緊の課題である。体育館への冷暖房の導入を進めよ。

A 計画的な設置について検討して参ります。

2019年度予算で実現へ

SPEECH 05 支援の受け入れ体制の構築を

Q 支援の形は、国・自治体・ボランティア等、多種多様であるが、現状の地域防災計画、防災マニュアルは受援の観点が無い。熊本地震でも課題となった受援計画の策定を進めるべきでは。

A 地域防災計画の修正において受援計画を盛り込んで参ります。

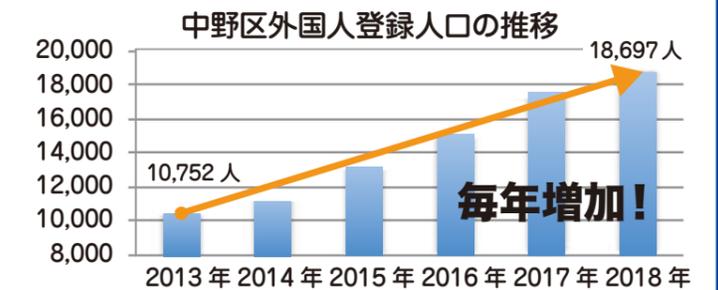
SPEECH 06 災害発生時に赤ちゃんを守れ! 乳幼児液体ミルクの備蓄

Q 2018年、国内メーカーが初めて液体ミルクの開発に成功した。区としても災害時に備えて備蓄すべき、西日本豪雨や北海道地震では活用されない事例が相次いだ。安全性や利便性についても周知を行え。

A 導入を検討し、周知についても他区の状況を踏まえ研究して参ります。



SPEECH 07 区内外国人が増加! 災害時の外国人対応について



Q オリンピック・パラリンピックには東京に多くの外国人が訪れる。地震が全く起こらない国も多くあり、震度3程度でもパニックになる可能性がある。外国人対応の防災対策、防災情報の多言語化表示をより進めよ。

A 来訪者が安心して中野を訪れられるよう防災対策を充実させ、防災情報の多言語化にも取り組んで参ります。

